■青木文教　　大谷光瑞に認められ，チベット行き，ダライ・ラマ13世との関係を築くも，翻弄され不遇に終わる。
あおきぶんきょう
帝国大学始・1886＝　　滋賀県で，浄土真宗本願寺派正福寺の住職の子に生まれる。

帝国憲法発布1889＝ 3歳：

日清戦争始・1894＝ 8歳：
日清戦争終・1895＝ **9歳：**

日露戦争始・1904**＝18歳：**
日露戦争終・1905＝19歳：

_仏教大学在学中，大谷光瑞に認められ，

伊藤博文暗殺1909＝23歳：***マレー半島の調査に参加，ペナンで光瑞一行と合流し，インドで仏蹟調査後，カルカッタに滞在，**
韓国併合・・1910＝24歳：***ダライ・ラマ13世のインド亡命を知った光瑞からの指示で，ダージリンに向かい，謁見，自らの入蔵希望も伝える。ロンドンで，13世から，日本へ留学生を派遣する旨の手紙を受取って，ダージリンに赴き，**
大逆事件判決1911＝25歳：諸事情から，**_法王が西本願寺に私的に派遣する形で，しかも蒙古人に変装させたチベット僧ツァワ=ティトゥルを同道して，帰国。**
明治天皇没・1912＝26歳：この年，**_辛亥革命で清朝が崩壊，至急インドに来いとの13世からの暗号電文を受け，ツァワ=ティトゥルを連れ，多田とともに密かに出港し，13世のいるカリンポンに赴き，謁見。チベット名トゥプテン・タジを授けられ，入蔵の許可も与えられ，ダージリンから，峠を越えて，13世の行宮チュンコルヤンツェに至り，以後，厚遇される。**
大正政変・・1913**＝27歳：*凱旋するダライ・ラマ13世の先発隊に加わり，ラサに到着。大谷光瑞の命で，ツァワ=ティトゥルの指導のもと，チベット大乗無量寿荘厳経の翻訳を開始。写真好きだったことから，無料の写真師として忙殺されるといいながら，訪れた各地を優れた腕で撮影する一方，美しいチベット文字も完璧にマスターして行く。**
第一次大戦始1914＝28歳：この年，西本願寺の僧侶が背任横領と文書偽造で逮捕され，大谷光瑞が法主の座をおり，
21ヶ条要求・1915＝29歳：河口・多田・矢島と新年会をしたらしい。この時，河口に依頼したことが，後に問題となる。
民本主義・・1916＝30歳：**_本願寺から帰国命令がきたため，13世と最後の謁見，ラサを後にし，"第二の故郷"ダージリンを経て，**
ロシア革命・1917＝31歳：**_帰国。河口に，2年前の約束を切り出し，中外日報にのちに"大正の玉手箱事件"と呼ばれるチベット大蔵経の帰属をめぐる河口との対決が報じられ，周囲をも巻き込んだ泥仕合的様相を帯びて行くが，**
本格政党内閣1918＝32歳：おそらく，立場上，***この問題を終わらせたい大谷光瑞の命で，東南アジアに派遣され，終息する。**
以後，ジャワで，熱帯農業の実践調査に当り，
大暴落・・・1920＝34歳：「西蔵遊記」が出版される。
原敬首相暗殺1921＝35歳：
水平社結成・1922**＝36歳：**
関東大震災・1923＝37歳：**_帰国。以後，光瑞からも離れて，不遇となり，**
金融恐慌・・1927＝41歳：この年，大連で出版されたアルバム「亜細亜大観」に，チベットで撮影した写真多数が詳しく紹介される。
満州事変・・1931**＝45歳：**

日中戦争始・1937＝51歳：

大政翼賛会・1940**＝54歳：**
日米開戦・・1941＝55歳：日米開戦直前，大東亜省に招かれ，嘱託としてチベット関係の調査・工作に当り，

敗戦・・・・1945＝59歳：敗戦後は，米軍CIEに教育顧問として勤務，

三大事件・・1949**＝63歳：**

独立回復・・1951＝65歳：東京大学文学部講師となり，チベット語を教え，

国連加盟・・1956＝70歳：**_病没した。**

江本嘉伸「西蔵漂泊・チベットに魅せられた十人の日本人」，平凡社百科事典，